

平成28年度第1回大淀町総合教育会議会議録

1. 日時 平成28年11月22日(火) 16:00～17:20
2. 場所 大淀町役場 202会議室
3. 出席状況 大淀町長 岡下 守正
教育長 上田 敏之
教育委員 竹内 元章
教育委員 下西 佳行
教育委員 山本 眞
教育委員 松木平友子
4. 会議内容

総務課長：開会宣言。

町 長：あいさつ。

教 育 長：平成28年度第1回教育サミットの内容説明

総務課長：「大淀町教育大綱」の素案説明

①期 間 第4次大淀町総合計画（前期）との整合を図ることから、策定日から平成33年度までのおおむね5年間とします。

②基本理念 食育による生きる力を育む教育、知・徳・体の充実を目指した人づくり、人権を尊重する人にやさしい社会、郷土愛にあふれるまちづくり。

③基本方針

1. 就学前教育の充実
2. 学校教育の充実
3. 社会教育の推進
4. 文化芸術の振興

④具体的施策

1. 就学前教育の充実

幼稚園と保育所の交流と連携、幼稚園・保育所の子ども同士が楽しく触れ合える機会づくりを進めることにより、幼稚園、保育所の保護者同士が互いに理解を深め、就学前の子どもたちに、より充実した教育、保育を実施します。小学校との交流と連携、幼稚園の教員、保育所の保育者、小学校教員が合同の研修会などを通じて理解を深め連携を行います。また、行事に互いの子どもたちを招待するなどして交流を図ります。

食育。給食をみんなと一緒に食べること、料理をすること、野菜などを育て、収穫することなど食育を通して知育、徳育、体育の基礎になる健やかな体と心を育むことに努めます。幼児教育。幼児期は人格形成の基礎を培う重要な時期であり、幼児教育アドバイザーなどを招いて、職員の研修会などを積極的に開催し、幼児教育の推進体制を強化します。

2. 学校教育の充実。

学力向上。学力向上推進検討委員会を設置し、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、各学校ごとに教員同士が連携を強化して、学力向上に取り組みます。

障害者支援。障害により支援が必要な幼児・児童・生徒のニーズを的確に把握するために、幼稚園、小・中学校との連携を強化するとともに、通級指導教室やあらかし学級によるサポートを充実させます。

地域ぐるみの教育。地域ぐるみの教育を実現するため、学校公開やボランティアを通じて地域に根差した学校づくりに取り組みます。

A L T、外国語指導助手。A L Tを活用した、より実践的な授業で、児童・生徒の英語に対する興味を引き出し、理解度を高めます。また、異文化に対する理解を促します。

小・中連携。小学校と中学校の連携を強化し、中1ギャップの解消に努めます。また、生徒に関する情報を共有することで、生徒の学校生活をサポートします。

情報機器の活用。情報機器を授業で広く活用し、子どもたちに興味を持たせるとともに、学習効果の向上を図ります。また、教師に対してはプロジェクターやデジタルカメラといった多様な機器に対応できるための研修会を実施します。

情報化教育。児童・生徒がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用することを推進し、学習意欲と学習効率を高めます。

3. 社会教育の推進。

社会教育団体、社会教育。社会体育関係団体と互いに連携を密にし、関係団体の自主運営を図る条件の整備と活動の支援に努めます。

人権教育。人権尊重のまちづくりを目指し、各種団体との確かな連携により、人権教育の推進に努めます。また、各種団体主催の人権にかかわる活動の支援など、住民の学習機会の充実に努めます。

スポーツ。住民相互の交流、親睦、健康づくりを目指し、一人一人が体力に応じて活動することのできる生涯スポーツの推進と住民のコミュニケーションの推進に努めます。

家庭教育。家庭教育に関する講演会の開催など、子育てに関する情報の提供に努めま

す。また、よりよい子育てと保護者同士の交流を目的に、各学校・幼稚園で取り組まれている家庭教育学級にあっては、その活動の推進を目指します。

ボランティア。ボランティア活動を支援し、ボランティアに関するさまざまな情報提供を行い、ボランティア活動に参加しやすい環境整備を行います。

施設利用促進。施設の利用にあって、利用者にわかりやすい情報提供を行います。また、スタッフの資質を向上させる取り組み、研修会への参加などの実施により、利用者の満足度を高めます。

4. 文化、芸術の振興

文化。地域で受け継がれてきた伝統文化を維持、継承しながら、町民の新しい文化の創造と文化の向上に向けて、文化活動の推進と文化財、文化遺産の保存、活用をはじめとする文化的取り組みに努めます。

郷土愛。地域の祭りや行事を大切に、郷土を愛する心を育むことを推進します。

町 長：教育委員会から何かありましたらお願いします。

学務課長：まず、現在の県内教育大綱の設置状況は39市町村のうち22の市町村策定をされています。

計画期間につきましては、総合計画との整合性の関係で3年から5年。

基本理念につきましては、全ての分野において尊重するというもので、例を挙げると、第3次大淀町総合計画まちづくりの基本理念は、「ひとまちも輝く大淀町 安全で住み良い活力あるまちをめざして」です。

基本方針につきましては、4つ上げております。学校教育の関係で①就学前教育の充実②学校教育の充実。生涯学習に関しましては、③社会教育の推進④文化、芸術の振興
具体的施策につきましては、就学前教育、食育、学力など、1回目、2回目ですべて出していたことに加えて、まちづくり住民会議でのご意見等も参考にさせていただいて作成させていただきました。

町 長：庶務の方から大綱の中身が示されまして、教育委員会の方から補足説明がありました。この素案を見ていただいて何かご意見ございましたらお願いいたします。

委 員：では、まず就学前教育の充実というところで。

就学前教育の充実を図ることが後々の小学校、中学校の教育に充実していくというのは当然そのとおりですけれども、大淀町の幼児教育ということを考えれば、今はこの西部幼稚園、東部幼稚園という組織、形態をいかに続けるか、もしくは形態を変えるということを考えていくべきだと思います。

町 長：子ども園とかにする話ですか。

委 員：私は子ども園はどちらかというところと反対の方です。今の西部幼稚園、東部幼稚園をできるだけ維持していきたいと。そのためには園児の数を増やす必要がありますが、そのためにはどうすればいいかということ、真剣に考えていくべきと、私は思います。

委 員：就学前教育の充実というところの一番下に、幼児教育のところ、アドバイザーなどを招いてと書いてありますが、私としてはぜひとも、幼児教育だけではなく、幼稚園、保育園、小学校、中学校、そして、民間、社会福祉法人の保育園さんにも参加していただいて、子どもたちの心の声を聞くことのできるアドバイザーを連れてきていただきたい。実は今、どんどんそういう部分が手薄になってきているような気がしています。現在の情報化社会においては、ますます1対1で目線を合わせて相手の気持ちを聞くということが大切な時代になってきていると思います。管理職である校長先生、教頭先生が職員の気持ちを聞くということも同様に大切なところだと思っています。ぜひともそういうことに力を入れていただけたらうれしいなと思っております。

町 長：委員が言われるのは、やはり人づくりですね。全ての業種について言えることだと思います。まず、教える側の人、きちっとつくっていくのも大事なことです。幼児教育のところ、書いてある研修会などを通じてということも含めて、全てに通じることだと思います。今年度、川上村でありました教育講座の中で、就学前教育が一番の焦点となりました。これを重点的にしていってほしい。

委 員：就学前教育の充実というところで、幼稚園と保育所の交流と連携と出ていますが、現状実施されていないと思いますので、具体的にどこが統括をして、誰が音頭取りするかの検討をお願いしたい。

町 長：教育委員会あるいは全庁あげての教育大綱ですので、教育委員会だけでなく、総務課、福祉課も入れての話になるかと思いますので、何かひとつ具体的にいただけたらと思います。

委 員：就学前教育のことでよろしいですか。
食育について、みんなと一緒に食べる、料理すること等が大事かと思っております。また、朝食の欠食をなくしていくべきと思っております。
大淀町には食育推進協議会があり、一生懸命活動してくれていますが、学校教育、朝食の

欠食等については、食推協の方々はまだそこまで入り込んでいません。ということは、これは学校教育で朝食の欠食を何とかすることが大事だと思います。大淀町には管理栄養士はおられますが、栄養教諭はおられません。栄養教諭は必要だと思います。栄養教諭の方が朝食の欠食とかについて子どもの家庭に啓蒙をしていただけないと、この食育は達成できないのではないかと考えています。

町 長：欠食児童の数を把握していますか。

学務課長：把握していません。

教 育 長：食育のことですが、実は先ほどの学力テストと状況調査に関連して、教育委員会もこれを調べました。平成28年度、今年のテストでわかったことですが、小学校6年生がテストしています。小3の平均で受験したものの92.6%が朝食を食べていると回答しています。これは全国平均と比較すると、2.9ポイント低いです。また、中学校3年生の90.5%の生徒さんが朝ごはんを食べていますよと回答しています。これは全国平均と比較すると2.8ポイント低いです。こうゆう状況にあります。

町 長：食育に関してはそういうことも一緒に進めていっていただきたいと思います。ご意見をいただきましたけれども、今日の内容をもう一度精査して、第4回目の総合教育会議を開催したいと思います。まだほかにはございませんか。

委 員：学校教育の充実ということで。やっぱり学校教育の充実の学力向上というのがあるんですけども、基礎学力の充実をしていかなければならないと私は思います。教育に知・徳・体とありますように、知が充実すれば、次の徳も充実し、体も充実していくということで、私はまず知だと思います。大淀町の教育でも、大淀町の子どもを育てるということは、将来の大淀町の人材を育てるということにつながりますので、この辺は充実させていくべきだと私は思います。大淀町の全国学力調査の結果は奈良県平均よりも悪いというような状況です。良くするには家庭の協力が必要だと思います。この辺はもちろん教師の教育力、学校力というのも充実させていき、学校と家庭が協力して学力の向上に努めていただけたらと思います。

町 長：家庭との連携を深めてやっていくということですね。ほかにごございませんか。

委員：具体的に職員として何ができるのか。子どもたちの気持ちをしっかり聞くという原点を大事にしていただけたら、そこから何か変わるんじゃないのかなと、私は感じています。

町長：ほかに。

委員：冒頭の教育長の話で、知事の見解は、成績が悪いのは学校、職員の責任ではないかというご意見がありましたけれども、その辺のところを教えてください。

教育長：知事は、これは現場の学校の先生の成績です。と、このようにおっしゃったのは事実です。それだけでなく、生徒の成績を良くするのが我々、ともおっしゃいました。というのは、教員も含めて行政も一緒になって大人の責任であるということを申されたわけです。その方法として秋田県、福井県等の、いわゆる学力成績の良いところのやり方を学んできなさいよということでした。学校の先生がまず子どもさんの前に立って指導していただいているので、指導に当たってくれている先生に任せる部分、それと、周辺からサポートをする部分、これをあわせて、先ほど町長も申されましたように、地域ぐるみでということ。その辺のところをしっかりと奈良県としてやっていきたいと思います、ということを知事は申されました。

町長：教育に関しては、教える側には大きな責任があります、という言い方をされたと思います。先進地視察などで徹底的に頑張っているところ、点数の高いところを徹底的になぜ高いのかというところを行って来て、勉強して、徹底的にパクリなさいと、普段から県の職員にも言っているようです。知事としては、ある意味でのハッパをかけたのだと思います。確かに、奈良県は点数が低いので。

委員：中学生、最下位でしたもんね。最下位の学習意欲と小学校で36位でしたか、中学校で20位で、これは去年よりも下がっている。

委員：学力のことにに関して、ここに学力向上推進委員会で検討等、いろいろと書いてありますけれども、なかなか結果として結びついていない。ずっと低いような状態が続いているわけです。どうしたらいいかという話になってくるときに、大学との連携というのも1つの案として考え、知恵を借りる、もしくは共に教育を高め合うというようなことをやっていかないと。

教育長：今年、検討委員会はもう廃止しました。推進委員会にしました。

委員：校長を中心とした指導者の資質を高めていくことが必要ですが、これができていない。

学校の組織力を向上させ、組織力を教育委員会から発信をし、学校の取り組みの中にそういう研修を計画的に入れていただきたい。

委員：まさしく委員がおっしゃるとおりだと思います。それぞれ個々のきめ細かい指導をしていかないと。しかし、先生方は多忙で時間的に難しいところもあると思います。例えば、寺子屋の設置といったような学習支援を行政からしていただけたらと思います。家庭との連携、この辺が学力向上につながってくると私は思います。

委員：子どもたちの気持ちを聞くことのできる職員をつくる、という文言をどこかに入れていただきたい。どうかよろしくお願いします。

町長：人材を確保、育てるということで。
ほかにございませんか。

委員：文化、芸術の振興に関連したことです。図書館の利用率、あらかしホールの使用回数等が大淀町の文化度を計る1つの目安だと思います。施設利用の促進ということを考えますと、利用者にわかりやすい情報提供、スタッフの資質を高めるということも当然ですけれども、もう少し使いやすい方法もしくは料金の問題等その他いろいろと考えていただきたい。

町長：文化、芸術にかかわらず、施設利用促進というところですね。
これは体育館、運動場も含めての話だと思います。

委員：それにちょっと関連しますけれども、中央公民館に文化的な活動を集約すれば、かなり文化に対する興味も変わってくるかと。広いスペースを使わず、そのまま放置してあるというのは非常にもったいないと思います。

町長：次の4回目の総合教育会議に持ち越したいと思いますので、よろしく願いいたします。
本日はありがとうございました。ご苦労さまでした。

(1 7 : 2 0)